

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①定時制生徒の多様なニーズに応える教育課程編成を工夫する。 ②生徒の主体的な学びを促すため、組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領の実施を見据え、本校生徒にふさわしい教育課程の実践に向けた準備を行う。 ②アクティブラーニングの視点に立った生徒参加型の授業改善を教科ごとに図る。	①生徒の多様なニーズに対応できるよう定通併修科目や学校設定科目の編成等を含め、引き続き検討を進める。 ②これまでの取り組みを踏まえ、各教科の特性を生かした、本校にふさわしい「主体的な学び」の実現を目指した授業展開の工夫に取り組む。	①平成33年度を見据え、現行の教育課程の課題を明確にすることができたか。 ②すべての教科で「主体的な学び」の実現を目指した公開授業を実施し、実践に活かすことができたか。					
2 生徒指 導・支援	①生徒一人ひとりの個に応じた相談体制・支援体制の充実を図る。 ②SC、SSWとの連携のあり方を研究し生徒の支援に活かす。	①SSW、SC、教職員の三者の協力体制を強化し、有効な活用を図る。	①SSW、SCの活用促進に向けた環境整備を行う。	①SSW、SCの活用や、外部機関との連携によって有効な生徒支援を行うことができたか。					
3 進路指 導・支援	①発達段階に応じた支援を通じて、生徒個々のキャリア発達を促す。 ②キャリア教育の充実を図り社会をたくましく生き抜くことができる力を育成する。	②進路説明会や面談等を多く実施し、個々の生徒に応じたきめ細かな指導を行う。	②生徒の進路希望に合わせたガイダンスを実施し、個々の生徒の進路の実現に向けた面談を行う。	②卒業年次の生徒が進路希望の実現に向けて活動させることができたか。また、1～3年次生に自己の進路の道筋を見出させることができたか。					
4 地域等と の協働	①地域との協働を推進し、「学びのネットワーク」のターミナル機能を担う。 ②地域防災の取り組みを推進する。	①コミュニティスクールの取組みを活かし、地域との協働をより推進する体制づくりを行う。	①学校運営協議会や学校設置部会の開催により、課題を整理しながら検討し、目標の共有を図ることで、地域の力を活用した教育活動を実践する。	①学校運営協議会や学校設置部会を計画的に開催し、学校運営の方針や、課題解決に向けた取組みについて協議し、具体的な実践を行うことができたか。					
5 学校管理 学校運営	①信頼され、安心して通える学校づくりを推進する。 ②適切な情報発信を行い昼間定時制への理解を広める。	②地域に根ざした学校を目指し、HP等において校内外への情報発信を充実する。	②ホームページの改善と充実を引き続き取り組み、地域や中学生に向けて積極的に情報を発信する。	②ホームページの更新により、内容をより充実させることができたか。					